

妹よ 有りかとう

十一月二十五日

妹の徳を白紙

八十才に存す

妹が八十才あり、姉の初は当然八十才也

より上と

妹が五十才に 既日 知つてい

妹が五十才に とうりの部屋に

お母の手つたいが 階下から大きな音器を

とつと着る 甲にお湯か入つてい

湯

人が二階と一階を 多くと行つた

来たり とやがて 妹の記念

赤ちゃんに 五妹 小さい妹が 八丁方

考えろ水なる

いとしよは 子よととして みるんだ妹

大ニ次大数台

その日の会い ともか 手い手代

二人で おい や ぶつくと

お米おおい おふをひすい びん中へ入

れと構で フフク 玉ミカウ だふち

いぢやるゑ^ん米^だ

十^べ九^年に水と^ん米^を入^れ小^壺を

煮^えと^け ^コと^ゆに火^をあ^そし^るこ^へあ^く

火^をあ^こす^り水^を大^変 ^スミ^をあ^きも^のり

マ^ッチ^の火^に 乾^燥し^てい^い ^やい^石の^板に

火^をア^ケる^に ^シア^ケア^ケ ^で米^を命^にア^ケる^に

妹^と二^人で^アケ^ア ^アい^や

これ^はを^煮ア^ケる^に ^こと^は付^く ^でま^ない

今^もい^いの^ま ^は妹^と二^人で^アケ^ア ^アい^や

妹^よ ^アケ^ア ^アい^や ^アケ^ア ^アい^や

ア^い ^だ ^アい^や ^アい^や

2023
11/24